

各 位

2026 年 10 月 23 日

SBI トレーサビリティ株式会社

SBI トレーサビリティの「SHIMENAWA(しめなわ)」が
磐田市のふるさと納税における実証実験に採用

返礼品の NFC タグで寄附者との継続的な接点づくりを支援

SBI トレーサビリティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：林口 文彦、以下「当社」）は、静岡県磐田市（市長：草地 博昭、以下「磐田市」）が、ふるさと納税を通じた寄附者との継続的な関係構築を目的に、当社が提供するトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA（しめなわ）」を活用した実証実験を開始したことをお知らせいたします。



自然と都市機能が調和する磐田市の風景

本取り組みではブロックチェーン技術と NFC タグを組み合わせたトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA（しめなわ）」を用い、ふるさと納税返礼品に NFC タグ付きのシールを同梱しています。寄附者がスマートフォンを同梱されたシールにかざすことで、磐田市が提供する返礼品や自治体に関するデジタルコンテンツへ直接アクセスすることができます。

磐田市は、プロサッカークラブ「ジュビロ磐田」やラグビークラブ「静岡ブルーレヴズ」のホームタウンとして全国的に知られています。また、日本屈指の生産量を誇る「温室メロン」や「海老芋」「緑茶」など豊かな特産品にも恵まれています。

一方で、クラブチームの知名度に対して「磐田市」という自治体自体の魅力や地域情報が全国へ届ききっておらず、ふるさと納税の寄附をきっかけとした「継続的なファン（関係人口）の獲得」や「市の魅力認知」が十分に行えていない点が課題となっていました。

そこで今回、返礼品にデジタル NFC タグを活用した「SHIMENAWA（しめなわ）」を導入することで、返礼品という「モノ」の送付にとどまらず、「磐田市」の魅力や、特産品・地域の情報を直接届けるデジタルな継続的接点を構築いたします。



NFCタグが内蔵されたステッカーにスマートフォンでタップすることで、
磐田市の魅力や、特産品・地域の情報を確認することができます。

・SHIMENAWA（しめなわ）について

SHIMENAWA（しめなわ）は、ICタグ（RFID／NFC）とブロックチェーン技術を用い、現物資産やカード等に固有IDを付与し、関連情報を一元的に記録・管理するトレーサビリティ・サービスです。真正性の確認、利用・配布履歴の記録、タグ経由でのデジタルコンテンツ配信、入出荷・在庫管理など、用途に応じた管理に対応しています。

SHIMENAWAの各機能の技術的詳細や仕様については、公式サイトをご参照ください。

<https://www.sbitraceability.co.jp/>

- ※1 「ブロックチェーン」とは、電子署名とハッシュポイントを用いた耐改ざん性のあるデータ構造により、データの変更履歴を共有・管理する技術です。
- ※2 「RFID」とは、Radio Frequency Identification の略称で、電波を用いて非接触で情報の読み取りを行う自動認識技術です。対象物に付与したタグ情報を一括で読み取ることができます。
- ※3 「NFC」とは、Near Field Communication の略称で、数 cm 程度の近距離で行う無線通信規格です。対応する IC タグやスマートフォン等の端末間で情報の読み書きを行うことができます。
- ※4 「SHIMENAWA(しめなわ)」では、株式会社 Uni Tag と共同開発したロゴ入り専用 NFC タグを採用しています。

【会社概要】

■ 静岡県磐田市

所在地	静岡県磐田市国府台 3-1
代表者	磐田市 市長 草地 博昭
URL	https://www.city.iwata.shizuoka.jp/

■ SBI トレーサビリティ株式会社

所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー
代表者	代表取締役 林口 文彦
URL	https://www.sbitraceability.co.jp/

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI トレーサビリティ株式会社 contact-ta@sbigroup.co.jp